

デルタ株の感染が広がる中での、 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策について

問合せ先 市役所健康推進課 (☎31-4524)

●デルタ株の感染が広がっています

デルタ株は、新型コロナウイルスの変異株の1つです。8月18日に厚生労働省の専門家会合は、デルタ株の感染力は従来株に比べて高い可能性（アルファ株の1.5倍高い可能性）があり、さらに、入院リスクが高い可能性があるとして示しました。

8月16日に国立感染症研究所が示した推計では、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県でおよそ98%、北海道で85%が従来株からデルタ株に置き換わったとされ、感染拡大の大きな要因と考えられています。

●改めて気を付けて欲しい行動様式

従来株は、三密（密閉・密集・密接）が重なると集団感染リスクが高まると強調されていましたが、デルタ株では、どれか1つの「密」でも集団感染のリスクが高まる可能性があると考えられています。国内では、換気をしてマスクを着用しているのに長時間近くにいることで感染した事例や、不適切なマスク着用が一因と考えられる事例があります。

また、新型コロナワクチン接種が進む中で、ワクチン接種後はマスク着用が不要になると考える人が出てくるなど、改めて注意が必要であると考えられています。

- マスクは鼻にしっかりフィットさせて着用しましょう。
- 感染リスクの比較的高い場面では、できれば不織布マスクを着用しましょう。
- 密閉・密集・密接はいずれも避け、人との距離に注意しましょう。
- マスクをしっかりしていても、室内で話す時間を短くし、大声は避けましょう。
- 今まで以上に換気に気を付けましょう。
- 体調が悪ければ、出勤・登校せず、必要な場合は受診しましょう。
- ワクチン接種後も、感染が収まるまではマスクを着用し、大人数での飲み会は控えましょう。



口と鼻を覆う



隙間をなくす

【新型コロナウイルス感染症対策分科会「変異株が出現した今、求められる行動様式に関する提言」より】

●ご家庭に新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる人（感染者）がいる場合、自宅での感染予防8つのポイント

- ①感染者と他の家族がいる部屋をできるだけ分けましょう。
- ②感染者をお世話する人は、できるだけ限られた方にしましょう。
- ③自宅の中でも、全員がマスクを正しく着用しましょう。
- ④石けんを用いた手洗いや、アルコールでの手指消毒をこまめに行いましょう。
- ⑤日中はできるだけ換気をしましょう。
- ⑥家族が共通でよく触るところ（部屋のドアノブ、トイレの流水レバー、照明のスイッチ、リモコンなど）を消毒しましょう。
- ⑦体液で汚れた衣類やタオル、布団カバーやまくらカバーを取り扱うときは、手袋とマスクをつけ、一般的な家庭用洗剤で洗濯し、完全に乾かしましょう。
※タオルや衣類の共用は避けましょう。
- ⑧鼻をかんだり、口や目を拭いたティッシュや、使用後のマスクなどは、すぐにビニール袋に入れ、密閉して捨てましょう。

【日本環境感染学会とりまとめより】

新型コロナウイルス感染症の療養終了後も続く症状について

新型コロナウイルス感染症は、誰でもかかる可能性のある病気ですが、治療や療養が終了しても、年代に関わらず、嗅覚障害（匂いが分からない）、せき、呼吸困難、倦怠感などといった症状が現れ、長引く場合があります。困ったこと、心配なことがあれば、ご相談ください。

・療養終了の基準

発症日（無症状の方は検体採取日）から10日間経過、かつ症状軽快後72時間経過（個別の判断については、医師の判断によります）

相談先 北海道新型コロナウイルス感染症 健康相談センター (☎0120-501-507) 24時間
釧路保健所 (☎65-5811) 平日午前8時45分～午後5時30分

【21(令和3)年7月 北海道作成資料より】